

美和地区集落支援活動

美和地域の概要

世帯数 1751 世帯、人口 3298 人、高齢化率 50.64%（令和 6 年 4 月 現在）

美和地域担当 集落支援員 松本

美和地域は大きく分けると 10 地区(旧小学校区)ありますが、その中から夢プランを作成した長谷地区・下畑地区の地域活動を支援しています。

下畑地区について

1. 地域の概要

仏原・北原・渋谷・才ヶ峠・柿木原の 5 つの単位自治会で構成

世帯数は 91 世帯、人口 139 人、高齢化率は 69.7%（令和 6 年 4 月 現在）

2. 集落支援事業の経緯

- 平成 27 年 8 月～12 月 集落点検、個別アンケート調査を実施
- 平成 28 年 3 月 アンケート報告
- 平成 28 年度 ワークショップ会議を開催（計 4 回）
- 平成 29 年 3 月 「下畑地区 夢プラン」完成（※1）
市へ「下畑交流館」の設置要望
- 平成 30 年度 下畑交流館建設に着手
- 令和 2 年 3 月 下畑交流館完成（※2）
- 令和 2 年 3 月 下畑地区ふるさとづくり推進協議会から「あさいち部」を発足。
- 令和 2 年 7 月 4 日 「せせらぎ朝市」開始
- 令和 3 年 5 月 1 日 「キッチンせせらぎ」開始



（※1）夢プラン

地域の課題を抽出しながら皆で課題を共有し、良いところを見つけ、目指すべき将来像を明らかにし、実現できる計画・しくみを作り、行動につなげていくためのものです。

（※2）下畑交流館（旧下畑集会所と旧下畑小学校施設の機能を集約した施設）



(設置目的)

- ・拠点を一本化することによる新たなコミュニティ活動の促進や、当施設を利用し夢プランを実践することにより地域の活性化を図る。
- ・高齢化により1つの自治会では活動が難しくなっているため下畑地区5自治会の交流の場として設置し、集落間のネットワークの強化を図る。
- ・朝市を開設し、遊休農地の利用を促進することにより農業の振興を図る。
- ・小学校と連携し、地域学習や農業体験等の交流事業の実施
- ・地区外や当地区出身者で他出している方との交流により、IJU ターン等の促進を図る。
- ・地域の投票所や避難所として利用する。

3. 集落支援活動

グランドゴルフ、ふるさと学習、盆踊り、祭り、清掃活動

下畑地区神楽大会 (21回開催)・・・神楽愛好会主催 来場者平均 200名程度



○せせらぎ朝市の実施

下畑交流館内の朝市ブースにて朝市活動を実施

- ・令和2年3月 下畑地区ふるさとづくり推進協議会から「あさいち部」を発足。
- ・令和2年7月4日 「せせらぎ朝市」OPEN！毎週土曜日8時～12時 営業中。
地元産の新鮮野菜、自作の手芸品等を出品。



○令和3年5月1日 「キッチンせせらぎ」OPEN！毎週土曜日9時～11時 営業中。

人と人をつなぐ交流館として地域拠点の場として活用される事が期待される。

地域活動拠点として地域内外との交流の場・憩いの場として集落の維持・活性化を図る。



○イベントの様子

下畑芸術祭



焼き栗の試食会



しいたけの駒打ち体験



感謝のきもちの餅つき大会



長谷地区について

1. 地域の概要

上長谷・下長谷・日宛・百合谷の4つの単位自治会で構成
世帯数 82 世帯、人口 145 人、高齢化率 64.1%（令和6年4月 現在）

2. 集落支援事業の経緯

平成 22 年 7 月～平成 23 年 1 月	集落点検・アンケート調査を実施
平成 23 年 2 月～6 月	ワークショップ会議を開催（計 4 回）
平成 24 年 10 月	「長谷地区夢プラン」完成
平成 27 年 4 月	「長谷みどりの会」を発足
平成 27 年度	長谷みどりの会と美和中学校で卒業証書づくり開始
令和元年度	手漉き和紙を使用したコサージュ作りを開始

3. 集落支援活動

○和紙づくり事業の支援

平成 22 年度 岩国往来道に景観づくりを目的として三椏の苗木 100 本を植樹
長谷みどりの会と美和中学校で和紙づくりを実施

中学校との年間作業スケジュール

- ・トロロアオイの種まき（5 月）・トロロアオイの収穫（10 月）
- ・三椏の収穫（12 月）・三椏の皮剥ぎ、黒皮剥ぎ（12 月）
- ・異物取り（1 月）・紙漉き（1 月）・三椏の植樹（2 月）

手漉き和紙を使用したコサージュ作りの作製



紙漉きの様子



卒業証書



手漉き和紙のコサージュ

- ・令和元年 11 月 「県民活動きらめき賞」を受賞
- ・紙漉き体験や手漉き和紙でリース作りなどの講座も開催



美和中学校へ出前講座



岩国高校坂上分校生徒が紙漉き体験



手漉き和紙でリース作り

令和5年4月から阿賀地区と秋掛地区の2地区についても、新しく支援を始めた。

阿賀地区について

1. 地域の概要

郷・湯ノ迫・西・片山・立岩の5つの単位自治会で構成
世帯数70世帯、人口103人、高齢化率68.9%（令和6年4月現在）

2. 集落支援事業の経緯

令和5年4月	阿賀ふるさとづくり推進委員会総会で集落支援事業を説明
令和5年6月	阿賀ふれあいセンター管理組合通常総会で支援計画決定
令和5年8月	あかコミュニケーション支援
令和5年10月	阿賀きらめき福祉村支援
令和5年10月	阿賀ふれあいセンター体験料金改定の情報提供、体験宣伝

3. 集落支援活動

○あかコミュニケーションの支援

令和5年に初めて開催された。空き家情報の展示、各種体験交流の支援を行う。



○阿賀きらめき福祉村の支援

障がいのある方に1日思い切り楽しく過ごしてもらおうと始まり、10回目の開催となった。会場や催しの準備等の支援を行った。



○阿賀ふれあいセンター交流体験事業の運営の改善についての提案

料金改定等を検討するため情報提供や改善案の提示を行った。また、そば打ち体験の様子をシティプロモーション課が発信しているInstagramに投稿するなどPRを行った。



秋掛地区について

1. 地域の概要

中山・秋掛・亀尾川・生見川・段子原・下大田原・中大田原・上大田原・秋中釜ヶ原の9つの単位自治会で構成

世帯数 111 世帯、人口 176 人、高齢化率 71.0%（令和6年4月 現在）

2. 集落支援事業の経緯

令和5年6月

秋掛ふるさとづくり推進協議会総会で集落支援事業を説明

令和5年6月下旬～7月31日

アンケート調査票による集落点検を実施

令和5年8月

納涼まつり支援

令和5年10月

美和中学校 ふるさと交流会（秋掛太鼓保存会）支援

令和5年10月

集落点検（アンケート調査）結果報告会開催

令和6年3月

農地利用における地域計画策定に向けた意見交換会

3. 集落支援活動

○集落点検調査結果報告会

集落点検の結果、様々な地域課題があることを地域住民が認識することとなった。

今後は、下記項目について、話し合い活動を実施することとした。

①旧秋掛小学校利活用（カフェ、朝市の取り組み） ②秋掛太鼓の保存、継承

③防災に関すること ④営農体制に関すること ⑤大田原3地区の統合について

上記の5項目について継続して協議していくことが決定した。

○美和中学校 ふるさと交流会（秋掛太鼓保存会）

毎年行われており、今年は7名の生徒が秋掛太鼓を体験した。中学生だけで1曲演奏できるようになることを目標にしている。



○農地利用における地域計画策定に向けた意見交換会

秋掛地区の農地を今後どのように管理していくか意見交換が行われた。

